

## 報道資料

### 消費動向調査（平成 26 年 12 月実施分） 調査結果の要点

- ① 平成 26 年 12 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、11 月の 37.7 から 1.1 ポイント上昇して 38.8 となり、5 か月ぶりに前月を上回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 12 月の消費者マインドは、**下げ止まりの動きがみられる。**  
（上方修正、前月：弱い動きがみられる。）

#### 一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	10 月調査	38.9	（▲ 1.0）
	11 月調査	37.7	（▲ 1.2）
	12 月調査	38.8	（ 1.1）

※消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 12 月）は 42.2。

- ③ 平成 26 年 12 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は 7 か月ぶりに低下した一方、「低下する」と「変わらない」は上昇した。  
消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が低下したものの 8 割を超えている。**  
（前月：「上昇する」と見込む割合が増加している。）

#### 1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	10 月調査	3.4	6.9	87.5	2.1
	11 月調査	3.6	5.2	88.8	2.4
	12 月調査	3.8	6.6	87.0	2.6

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 12 月）は 62.3%。  
「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.6%。

消費動向調査（平成 26 年 11 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 11 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、10 月の 38.9 から 1.2 ポイント低下して 37.7 となり、4 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が低下した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 11 月の消費者マインドは、弱い動きがみられる。（下方修正、前月：弱含んでいる。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	9 月調査	39.9	（▲ 1.3）
	10 月調査	38.9	（▲ 1.0）
	11 月調査	37.7	（▲ 1.2）

※消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 11 月）は 42.2。

- ③ 平成 26 年 11 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」と「低下する」は上昇した一方、「変わらない」は低下した。  
消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が増加している。（前月から表現の変更はなし。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	9 月調査	4.0	7.0	87.0	2.0
	10 月調査	3.4	6.9	87.5	2.1
	11 月調査	3.6	5.2	88.8	2.4

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 11 月）は 62.1％。  
「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.6％。

消費動向調査（平成 26 年 10 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 10 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、9 月の 39.9 から 1.0 ポイント低下して 38.9 となり、3 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が低下した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 10 月の消費者マインドは、弱含んでいる。  
（下方修正、前月：足踏みがみられる。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	8 月調査	41.2	（▲ 0.3）
	9 月調査	39.9	（▲ 1.3）
	10 月調査	38.9	（▲ 1.0）

※消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 10 月）は 42.2。

- ③ 平成 26 年 10 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は上昇した一方、「低下する」と「変わらない」は低下した。  
消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が増加している。  
（前月から表現の変更はなし。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	8 月調査	3.4	8.3	86.1	2.2
	9 月調査	4.0	7.0	87.0	2.0
	10 月調査	3.4	6.9	87.5	2.1

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 10 月）は 61.9%。  
「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.7%。

消費動向調査（平成 26 年 9 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 9 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、8 月の 41.2 から 1.3 ポイント低下して 39.9 となり、2 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が低下した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 9 月の消費者マインドは、足踏みがみられる。  
（下方修正、前月：持ち直しのテンポが緩やかになっている。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	7 月調査	41.5	（ 0.4）
	8 月調査	41.2	（▲ 0.3）
	9 月調査	39.9	（▲ 1.3）

※ 消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 9 月）は 42.2。

- ③ 平成 26 年 9 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」と「低下する」は上昇した一方、「変わらない」は低下した。  
消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が増加している。  
（前月：「上昇する」と見込む割合が 8 割を超えている。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	7 月調査	3.4	8.8	85.5	2.2
	8 月調査	3.4	8.3	86.1	2.2
	9 月調査	4.0	7.0	87.0	2.0

※ 「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 9 月）は 61.7%。  
「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.7%。

消費動向調査（平成 26 年 8 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 8 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、7 月の 41.5 から 0.3 ポイント低下して 41.2 となり、4 か月ぶりに前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「収入の増え方」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」は低下した一方、「暮らし向き」は上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 8 月の消費者マインドは、持ち直しのテンポが緩やかになっている。（下方修正、前月：持ち直している。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	6 月調査	41.1	（ 1.8）
	7 月調査	41.5	（ 0.4）
	8 月調査	41.2	（▲ 0.3）

※ 消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 8 月）は 42.3。

- ③ 平成 26 年 8 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は 2 か月連続で上昇した一方、「低下する」は横ばい、「変わらない」は 2 か月連続での低下となった。
- 消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が 8 割を超えている。（前月から表現の変更はなし。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	6 月調査	3.7	10.3	83.3	2.7
	7 月調査	3.4	8.8	85.5	2.2
	8 月調査	3.4	8.3	86.1	2.2

※ 「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 8 月）は 61.5％。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.7％。

消費動向調査（平成 26 年 7 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 7 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、6 月の 41.1 から 0.4 ポイント上昇して 41.5 となり、3 か月連続で前月を上回った。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「暮らし向き」「収入の増え方」「雇用環境」は上昇した一方、「耐久消費財の買い時判断」は横ばいとなった。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 7 月の消費者マインドは、持ち直している。（据置き、前月から表現の変更はなし。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	5 月調査	39.3	（ 2.3）
	6 月調査	41.1	（ 1.8）
	7 月調査	41.5	（ 0.4）

※ 消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 7 月）は 42.3。

- ③ 平成 26 年 7 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は 4 か月ぶりに上昇した一方、「低下する」は 4 か月連続の低下、「変わらない」は 4 か月ぶりの低下となった。
- 消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が 8 割を超えている。（前月から表現の変更はなし。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	5 月調査	3.8	10.1	83.3	2.6
	6 月調査	3.7	10.3	83.3	2.7
	7 月調査	3.4	8.8	85.5	2.2

※ 「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 7 月）は 61.3％。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.8％。

## 報道資料

### 消費動向調査（平成 26 年 6 月実施分） 調査結果の要点

- ① 平成 26 年 6 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、5 月の 39.3 から 1.8 ポイント上昇して 41.1 となり、2 か月連続で前月を上回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標も 2 か月連続で上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 6 月の消費者マインドは、持ち直している。（上方修正、前月：持ち直しの動きがみられる）

#### 一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	4 月調査	37.0	（▲0.5）
	5 月調査	39.3	（ 2.3）
	6 月調査	41.1	（ 1.8）

※ 消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 6 月）は 42.3。

- ③ 平成 26 年 6 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は前月と横ばい、「低下する」は 3 か月連続で低下、「変わらない」は 3 か月連続で増加した。  
消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が 8 割を超えている。（前月：「上昇する」と見込む割合は低下しているものの、依然として 8 割を超えている）

#### 1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	4 月調査	4.0	8.6	84.8	2.6
	5 月調査	3.8	10.1	83.3	2.6
	6 月調査	3.7	10.3	83.3	2.7

※ 「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 6 月）は 61.1％。  
「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.8％。

消費動向調査（平成 26 年 5 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 5 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、4 月の 37.0 から 2.3 ポイント上昇して 39.3 となり、6 か月ぶりに前月を上回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 5 月の消費者マインドは、**持ち直しの動きがみられる。**（上方修正、前月：弱い動きがみられる。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	3 月調査	37.5	（▲1.0）
	4 月調査	37.0	（▲0.5）
	5 月調査	39.3	（ 2.3）

※ 消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 5 月）は 42.3。

- ③ 平成 26 年 5 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、前月に比べて、「上昇する」は 2 か月連続で低下し、「低下する」も 2 か月連続で低下した。また、「変わらない」は 2 か月連続で増加した。
- 消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合は低下しているものの、依然として 8 割を超えている。**  
（前月：「上昇する」と見込む割合は低下したものの、依然として 8 割を超えている。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	3 月調査	4.3	4.2	89.7	1.9
	4 月調査	4.0	8.6	84.8	2.6
	5 月調査	3.8	10.1	83.3	2.6

※ 「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 5 月）は 60.9%。  
「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.8%。

消費動向調査（平成 26 年 4 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 4 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、3 月の 37.5 から 0.5 ポイント低下して 37.0 となり、5 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち、「暮らし向き」「収入の増え方」「雇用環境」は低下した一方、「耐久消費財の買い時判断」は上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 4 月の消費者マインドは、**弱い動きがみられる。**（据置き、前月から表現の変更はなし。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	2 月調査	38.5	（▲1.8）
	3 月調査	37.5	（▲1.0）
	4 月調査	37.0	（▲0.5）

※ 消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 4 月）は 42.3。

- ③ 平成 26 年 4 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、前月に比べて、「上昇する」は 2 か月ぶりに低下し、「低下する」も 3 か月ぶりに低下した。また、「変わらない」は増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合は低下したものの、依然として 8 割を超えている。**

（前月：「上昇する」と見込む割合は 9 割程度となっている。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	2 月調査	4.1	4.7	89.3	2.0
	3 月調査	4.3	4.2	89.7	1.9
	4 月調査	4.0	8.6	84.8	2.6

※ 「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 4 月）は 60.7%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.9%。

消費動向調査（平成 26 年 3 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 3 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、2 月の 38.5 から 1.0 ポイント低下して 37.5 となり、4 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が低下した。

消費者態度指数の動きから見た 3 月の消費者マインドは、弱い動きがみられる。（下方修正、前月：弱含んでいる。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 26 年	1 月調査	40.3	（▲1.0）
	2 月調査	38.5	（▲1.8）
	3 月調査	37.5	（▲1.0）

※ 消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 3 月）は 42.3。

- ② 平成 26 年 3 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、前月に比べて、「上昇する」は 2 か月ぶりに増加し、「低下する」は 2 か月連続で増加した。また、「変わらない」は低下した。

消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合は 9 割程度となっている。（前月から表現の変更はなし。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 26 年	1 月調査	3.7	4.7	89.4	2.2
	2 月調査	4.1	4.7	89.3	2.0
	3 月調査	4.3	4.2	89.7	1.9

※ 「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 3 月）は 60.5%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.9%。

消費動向調査（平成 26 年 2 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 2 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、1 月の 40.5 から 2.2 ポイント低下して 38.3 となり、3 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が低下した。

消費者態度指数の動きから見た 2 月の消費者マインドは、弱含んでいる。（下方修正、前月：足踏みがみられる。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 25 年	12 月調査	41.3	（▲1.2）
平成 26 年	1 月調査	40.5	（▲0.8）
	2 月調査	38.3	（▲2.2）

※ 消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 2 月）は 42.3。

- ② 平成 26 年 2 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、前月に比べて、「上昇する」が 2 か月ぶりに減少した一方、「低下する」は 2 か月ぶりに増加した。また、「変わらない」は横ばいとなった。

消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合は 9 割程度となっている。（前月から表現の変更はなし。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 25 年	12 月調査	3.8	5.6	88.4	2.3
平成 26 年	1 月調査	3.7	4.7	89.4	2.2
	2 月調査	4.1	4.7	89.3	2.0

※ 「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 2 月）は 60.3％。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 7.9％。

消費動向調査（平成 26 年 1 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 26 年 1 月の一般世帯の消費者態度指数（季節調整値）は、12 月の 41.3 から 0.8 ポイント低下して 40.5 となり、2 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち、「暮らし向き」「収入の増え方」「耐久消費財の買い時判断」は低下した一方、「雇用環境」は上昇した。

消費者態度指数の動きから見た 1 月の消費者マインドは、足踏みがみられる。（据置き、前月から表現の変更はなし。）

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 25 年	11 月調査	42.5	（ 1.3）
	12 月調査	41.3	（▲1.2）
平成 26 年	1 月調査	40.5	（▲0.8）

※ 消費者態度指数（一般世帯、季節調整値）の過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 26 年 1 月）は 42.4。

- ② 平成 26 年 1 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、前月に比べて、「上昇する」が 3 か月ぶりに増加した。一方、「低下する」は 3 か月ぶりに減少し、「変わらない」も 2 か月ぶりに減少した。

消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合は 9 割程度となっている。（前月から表現の変更はなし。）

1 年後の物価の見通し（一般世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 25 年	11 月調査	3.5	4.9	89.2	2.5
	12 月調査	3.8	5.6	88.4	2.3
平成 26 年	1 月調査	3.7	4.7	89.4	2.2

※ 「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 26 年 1 月）は 60.0％。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 8.0％。